

## 「びわ湖の日」についてのアンケート結果

県では、より多くの県民の皆さまが、改めて琵琶湖へ想いを寄せ、様々な活動が活発になるなど、琵琶湖とのつながりを深めていただくために、「この夏！びわ活！」をキャッチフレーズに、「びわ湖の日」を盛り上げる取組を実施しました。

皆さまから率直な意見をいただき、「びわ湖の日」の今後の取組の参考にさせていただくことを目的として、アンケート調査を実施しました。

★調査時期：令和元年9月

★対象者：県政モニター 399人

★回答数：336人（回収率84.2%）

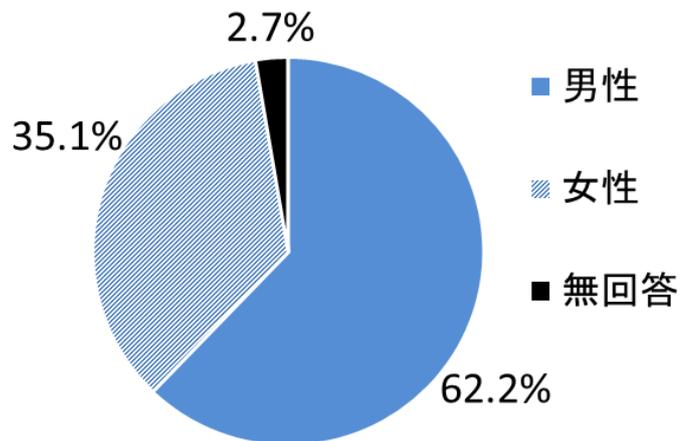
★担当課：琵琶湖環境部 環境政策課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

### 【属性】

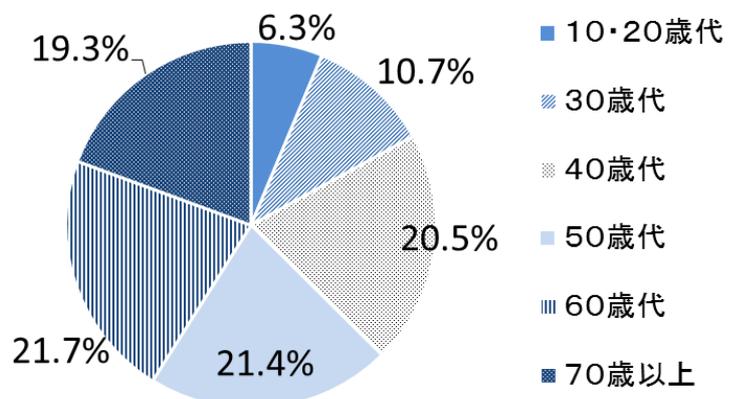
#### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	209	62.2
女性	118	35.1
無回答	9	2.7
合計	336	100.0



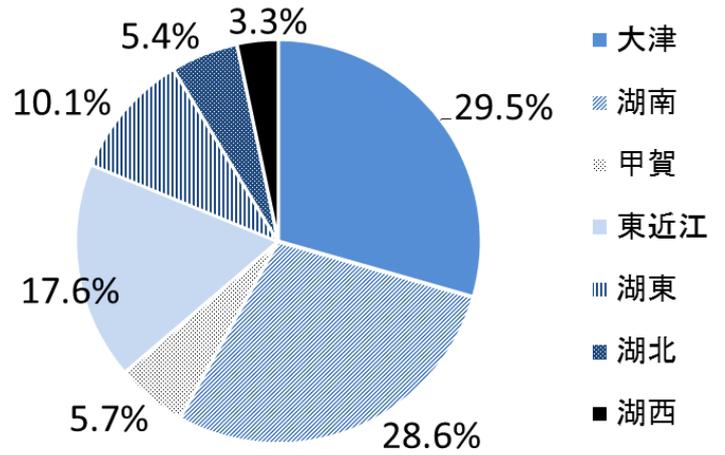
#### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	21	6.3
30歳代	36	10.7
40歳代	69	20.5
50歳代	72	21.4
60歳代	73	21.7
70歳以上	65	19.3
合計	336	100.0



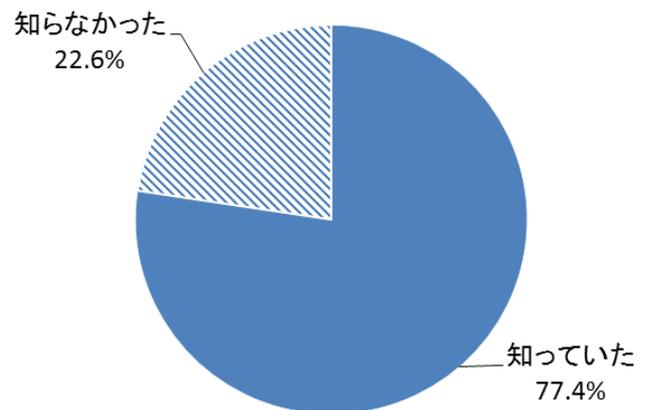
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	99	29.5
湖南地域	96	28.6
甲賀地域	19	5.7
東近江地域	59	17.6
湖東地域	34	10.1
湖北地域	18	5.4
湖西地域	11	3.3
合計	336	100.0



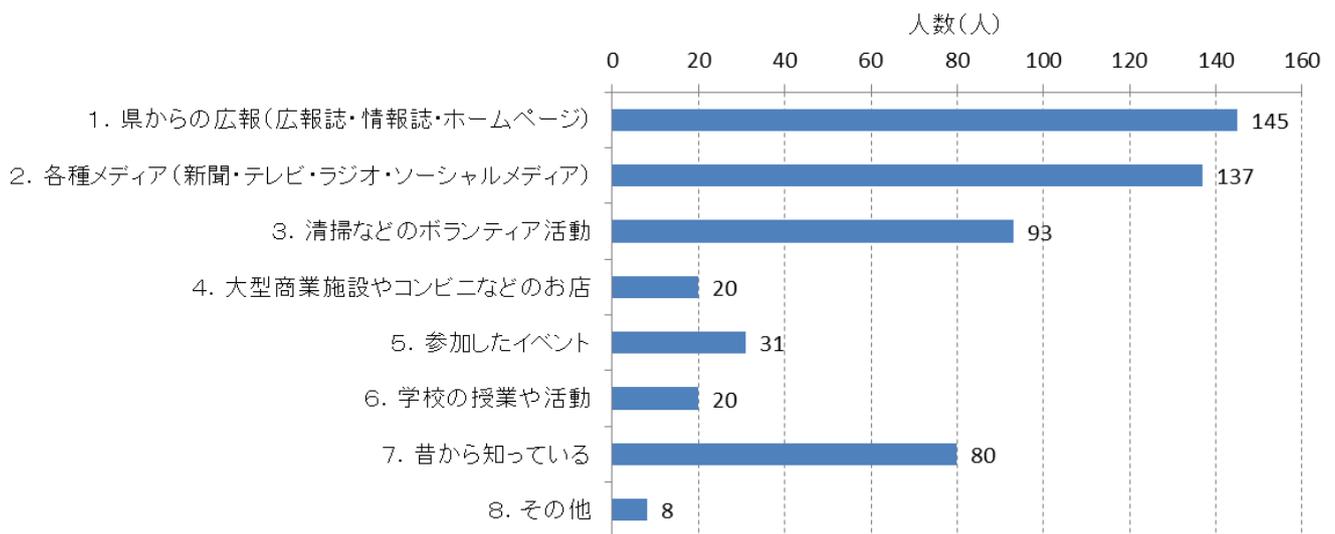
問1 7月1日が「びわ湖の日」であることを知っていましたか。(回答チェックは1つだけ。  
n=336)

項目	人数(人)	割合(%)
知っていた	260	77.4
知らなかった (このアンケートで はじめて知った)	76	22.6
合計	336	100.0



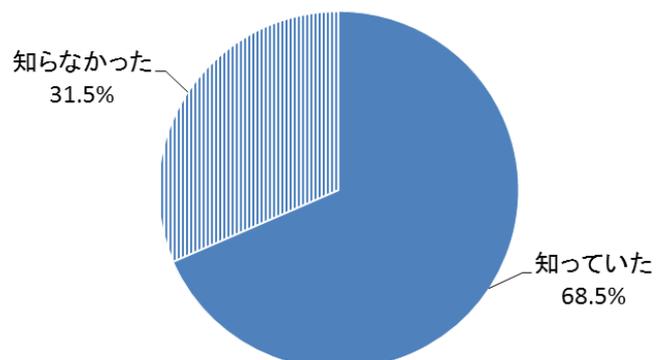
問2 問1で「1. 知っていた」を選択された方にお尋ねします。「びわ湖の日」をどのようなきっかけで知りましたか。(回答チェックはいくつでも。n=260)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県からの広報(広報誌・情報誌・ホームページ)	145	55.8
2. 各種メディア(新聞・テレビ・ラジオ・ソーシャルメディア)	137	52.7
3. 清掃などのボランティア活動	93	35.8
4. 大型商業施設やコンビニなどのお店	20	7.7
5. 参加したイベント	31	11.9
6. 学校の授業や活動	20	7.7
7. 昔から知っている	80	30.8
8. その他	8	3.1



問3 「びわ湖の日」は、「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」が施行された日を記念して定められています。当条例は、1977年(昭和52年)5月に大規模に発生した淡水赤潮の原因の一つが、合成洗剤に含まれているりんに起因することがわかり、県民が主体となって、粉石けんを使おうという運動(石けん運動)の盛り上がりなどを背景に施行されたものです。こうした背景を知っていましたか。(回答チェックは1つだけ。n=336)

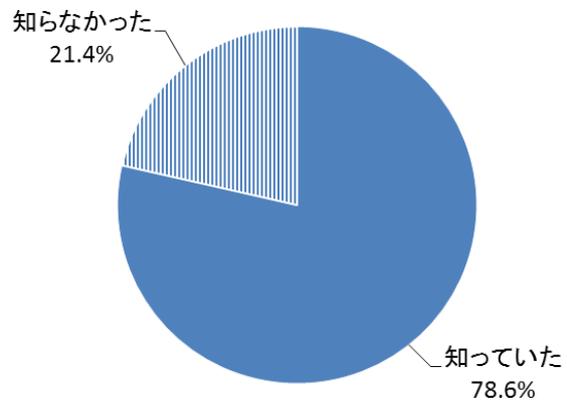
項目	人数(人)	割合(%)
知っていた	230	68.5
知らなかった (このアンケートで はじめて知った)	106	31.5
合計	336	100.0



問4 「びわ湖の日」は「滋賀県環境基本条例」において、環境保全について理解と認識を深め、環境保全活動への参加意欲を高める日として定められています。

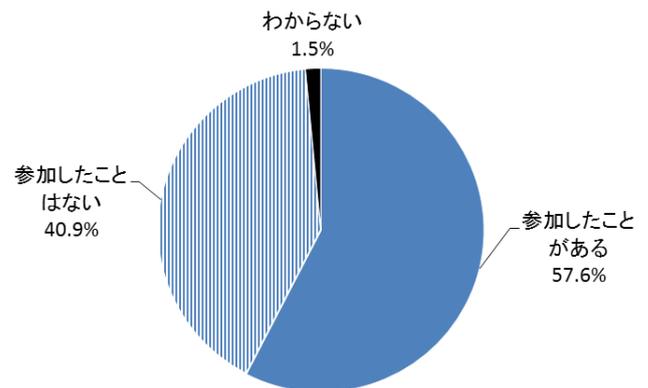
これまで、「びわ湖の日」を中心に、県内一斉に清掃活動が行われてきたことを知っていましたか。(回答チェックは1つだけ。n=336)

項目	人数(人)	割合(%)
知っていた	264	78.6
知らなかった (このアンケートで はじめて知った)	72	21.4
合計	336	100.0



問5 問4で「1. 知っていた」を選択された方にお尋ねします。これまで、「びわ湖の日」の一斉清掃活動(びわ湖をきれいにする運動)に参加したことがありますか。(回答チェックは1つだけ。n=264)

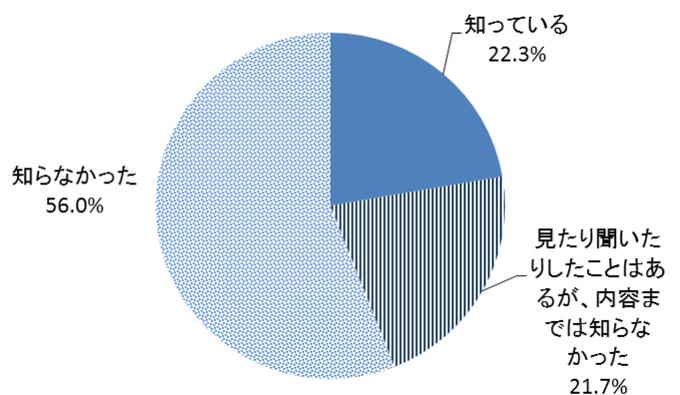
項目	人数(人)	割合(%)
参加したことがある	152	57.6
参加したことはない	108	40.9
わからない	4	1.5
合計	264	100.0



問6 「びわ活<sup>\*</sup>」を知っていますか？ (回答チェックは1つだけ。n=336)

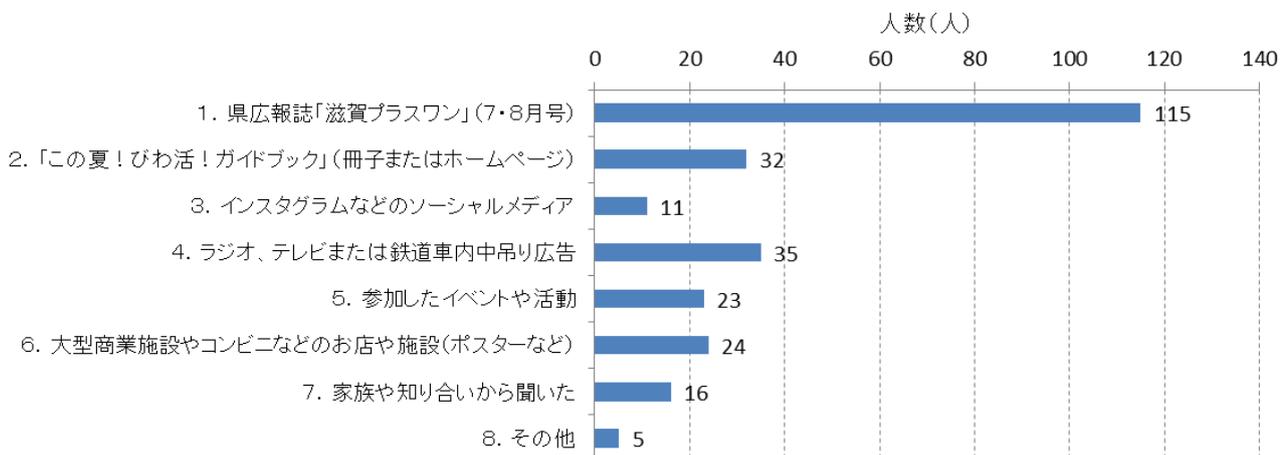
<sup>\*</sup>「びわ活」とは、びわ湖の日(7月1日)から山の日(8月11日)までを重点期間とした、琵琶湖を守る、琵琶湖と暮らす、琵琶湖と親しむ、といった琵琶湖と関わるさまざまな取組や活動をいいます。

項目	人数(人)	割合(%)
知っている	75	22.3
見たり聞いたりしたことはあるが、内容までは知らなかった	73	21.7
知らなかった (このアンケートで はじめて知った)	188	56.0
合計	336	100.0



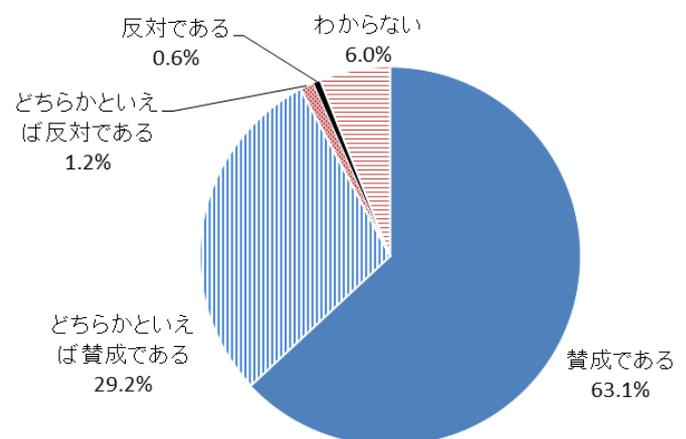
問7 問6で「1. 知っている」「2. 見たり聞いたりしたことはあるが、内容までは知らなかった」と回答された方にお尋ねします。「びわ活」をどのようなきっかけで知りましたか。  
(回答チェックはいくつでも。n=148)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県広報誌「滋賀プラスワン」(7・8月号)	115	77.7
2. 「この夏！びわ活！ガイドブック」(冊子またはホームページ)	32	21.6
3. インスタグラムなどのソーシャルメディア	11	7.4
4. ラジオ、テレビまたは鉄道車内中吊り広告	35	23.6
5. 参加したイベントや活動	23	15.5
6. 大型商業施設やコンビニなどのお店や施設(ポスターなど)	24	16.2
7. 家族や知り合いから聞いた	16	10.8
8. その他	5	3.4



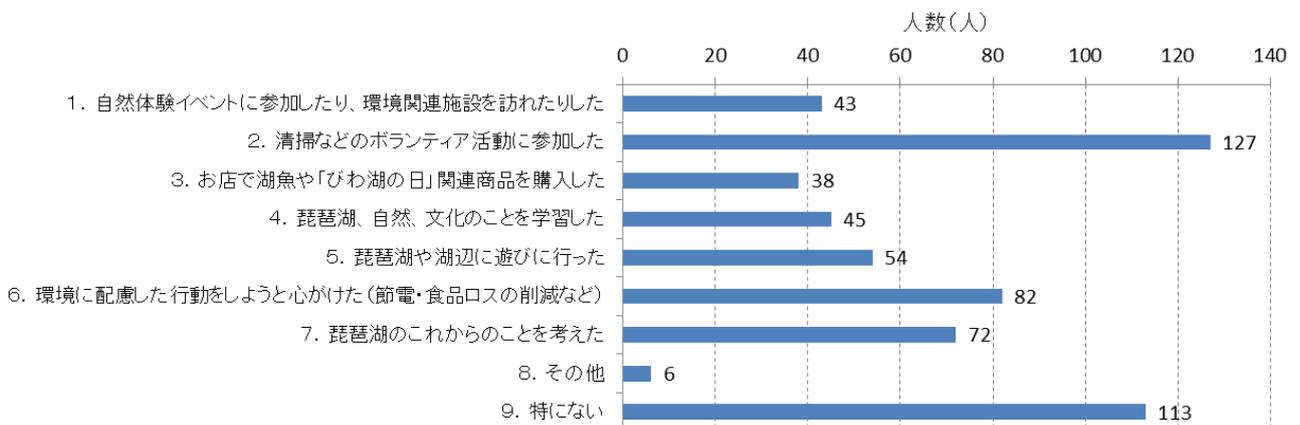
問8 「びわ活」の重点期間(びわ湖の日(7月1日)から山の日(8月11日))を設定して、森・川・里・湖のつながりを意識しながら、琵琶湖に関わるさまざまな取組や活動を推進する考えについて、どのように思われますか。(回答チェックは1つだけ。n=336)

項目	人数(人)	割合(%)
賛成である	212	63.1
どちらかといえば賛成である	98	29.2
どちらかといえば反対である	4	1.2
反対である	2	0.6
わからない	20	6.0
合計	336	100.0



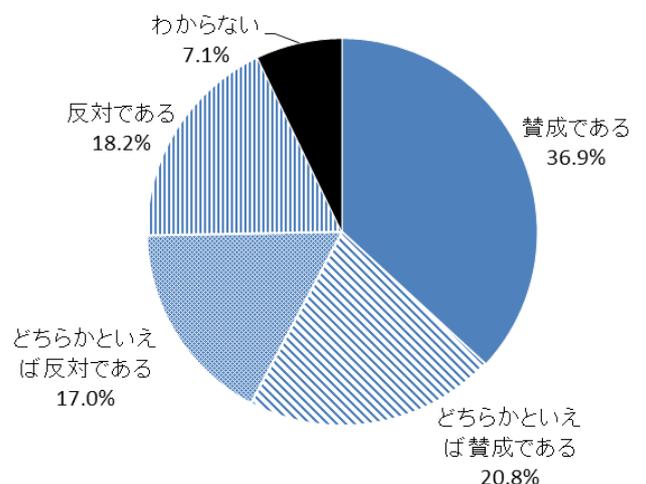
問9 今年、「びわ湖の日」や「びわ活」を意識して関わったことがあれば教えてください。  
 (回答チェックはいくつでも。n=336)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自然体験イベントに参加したり、環境関連施設を訪れたりした	43	12.8
2. 清掃などのボランティア活動に参加した	127	37.8
3. お店で湖魚や「びわ湖の日」関連商品を購入した	38	11.3
4. 琵琶湖、自然、文化のことを学習した	45	13.4
5. 琵琶湖や湖辺に遊びに行った	54	16.1
6. 環境に配慮した行動をしようと心がけた(節電・食品ロスの削減など)	82	24.4
7. 琵琶湖のこれからのことを考えた	72	21.4
8. その他	6	1.8
9. 特になし	113	33.6



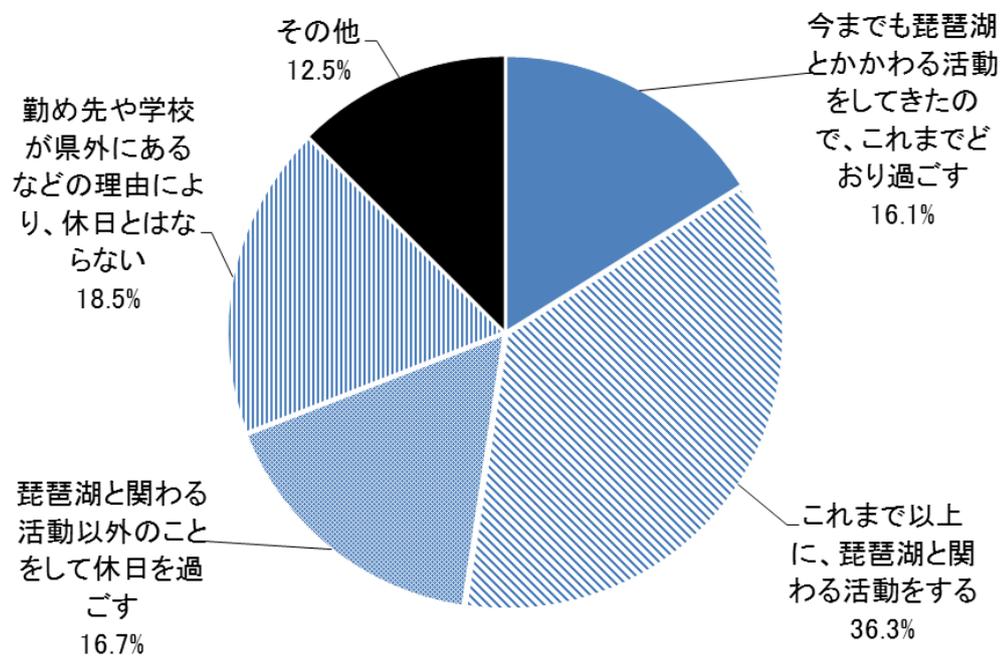
問10 7月1日「びわ湖の日」を県内において休日とすることについて、あなたはどのように思いますか。(回答チェックは1つだけ。n=336)

項目	人数(人)	割合(%)
賛成である	124	36.9
どちらかといえば賛成である	70	20.8
どちらかといえば反対である	57	17.0
反対である	61	18.2
わからない	24	7.1
合計	336	100.0



問 11 7月1日「びわ湖の日」が県内において休日となった場合、どのようなことをして過ごしますか。(回答チェックは1つだけ。n=336)

項 目	人数(人)	割合(%)
今までも琵琶湖とかかわる活動をしてきたので、これまでどおり過ごす	54	16.1
これまで以上に、琵琶湖と関わる活動をする	122	36.3
琵琶湖と関わる活動以外のことをして休日を過ごす	56	16.7
勤め先や学校が県外にあるなどの理由により、休日とはならない	62	18.5
その他	42	12.5
合計	336	100.0



問 12 7月1日「びわ湖の日」が県内において休日となった場合、良いと思われることがあれば教えてください。(抜粋)

- ・琵琶湖のことを考える機会となり、県民の琵琶湖愛、郷土愛が高まる。
- ・琵琶湖のかかえる諸問題について、子供たちと考える機会となる。
- ・琵琶湖へ遊びに行く家族もいるだろうし、子供にとっては親子の触れ合いができる機会になる。
- ・びわ湖の日の知名度アップにつながる。
- ・びわ湖の日を広く啓蒙できるので環境問題や観光地としての知名度を世界に発信できる。
- ・環境を良くする活動に参加する人が増えるかもしれない。
- ・ボランティア活動が活発になると思う。
- ・一斉清掃や環境イベントの開催など、琵琶湖、里山の環境保全やプラスチックごみなど現代の環境問題の啓発に参加する機会とすることができるようになる。
- ・この日、琵琶湖関連の施設を無料解放して県外からも観光客を呼ぶイベントをしてはどうか。
- ・若者や県民、これからを担う子供たちが「びわ湖の日」という休日をつくることで「びわ湖」を特別視できる機会になるのではないか。

問 13 7月1日「びわ湖の日」が県内において休日となった場合、不都合なことがあれば教えてください。(抜粋)

- ・県外で勤務、通学している人は恩恵を受けることができない。
- ・会社が休日にならない親の子供は、親が有休を取るしかなくなる。働く家庭の負担が増える。
- ・子供の学校が休みになっても、飲食やサービス・販売業の親は仕事を休めない。
- ・勤務先の年間休日数は変わらないので、土曜日出勤が増えるだけ
- ・大手企業は滋賀県内の事業所や工場だけを休業にはできない。
- ・時給や日給で働いている人は収入が減る。
- ・公共機関が休みになると不便。
- ・休日と(記念日的な)してしまったら、その日にしか考えないようになるのではないか。
- ・「びわ湖の日」が休日となっても、県民が琵琶湖に関する活動に参加するとは限らない。
- ・学校が休みになると、授業時数の確保が不十分になる。
- ・休みになっても活動を行わないものがほとんどと思うので、その日に一時間だけ学校の授業として琵琶湖についての学習をした方がよい。
- ・自治会に負担がかかる(休日になったからといって自治会活動に参加が増えるとは限らない)

問 14 「びわ湖の日」に関して、今後、県、事業者、民間団体等に対して期待することなどがありましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・「びわ活」の冊子を今年も去年も入手したが、ほとんど子どもか親子向けのイベントばかりで、成人向けの内容ではないのが残念。もっと間口を広げてほしい。
- ・清掃活動も重要だと思うけれども、広くびわ湖の日を認知してもらえそうなイベントがあると嬉しい。多くの人を知るきっかけにもなるし、子連れでも清掃活動よりハードルが低いので参加しやすいと思う。
- ・「びわ湖の日」を休日とするよりも、日常の生活の中で、行政・地域・事業者・民間団体・教育現場等が一体となって、びわ湖に関わる活動を積極的に取り組むべきと考える。
- ・びわ湖の日をもっともっと日本全国に広めていくべきだと考える。休日制定は広まってからでもいいのではと考える。
- ・昔からの半強制清掃活動は現在において無理がある。時代も、人の考え方も全てが異なるこの時代において今までのやり方で良いのか。
- ・期間中に清掃活動等を長年に亘り努力されている団体・企業・個人等を表彰されるのに併せて、マスコミ等でその活動内容の模範を県民に報道してほしい（後継者づくりのためにも）。
- ・滋賀県の学校では毎年、びわ湖の日には、必ず清掃やびわ湖について学ぶなど取り組んだらいいと思う。子どもの頃からびわ湖の日の習慣があると、フローティングみたいに、大人になっても意識に植え付いていると思う。
- ・一斉清掃日などは地域によりバラツキがある。暑い時期なので熱中症対策や休日に実施するなどの配慮も必要かと思われる。琵琶湖を大切にすることは重要なので、PR 活動は積極的に実施してほしいと思う。
- ・関西の習わしだった恵方巻きが全国に普及したが、オリジナルの食べ物を考案して、びわ湖の日には琵琶湖にちなんだ食を提案するのも広報を兼ねた県の PR になると思う。
- ・県内のショッピングセンターなども協賛して、割引セールなどをやっていただければ、いいなと思う。
- ・びわ湖の日重点期間は、猛暑の時期になるので、6月中から重点期間を始めたほうが、屋外のイベントなどにも参加しやすくなると思う。
- ・休みの日にするのに必然性のある取り組みがなされるならよいが、そうでないなら、休みにすることを目的化せず、富栄養化防止条例の精神を後世につたえる取り組みにさらに力を入れることを提案する。
- ・県内の文化施設（博物館、美術館等）を無料開放し、県民や県外からの訪問者に琵琶湖の偉大さを知ってもらおう。